

ウオダス 漁海況速報 No. 1888

発行日 平成27年8月21日

http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184

発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所

TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156

住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10



8月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	○漁海況		□漁況		

○ナマコ資源を巡る世界の動き、水総研の取り組み

小泊 (8月16~20日)

スルメイカ	釣り	12隻	3,428.0kg
ウスメバル	釣り	6隻	44.6kg
(1,233.4kg)	刺網	21隻	1,188.8kg

下前 (8月16~20日)
(取りまとめ中)

鱒ヶ沢 (8月16~20日)
(取りまとめ中)

大戸瀬 (新深浦) (8月16~20日)
(取りまとめ中)

深浦 (8月16~20日)

マダイ	釣り	3隻	29.7kg
(89.8kg)	定置網	9隻	59.4kg
	底建網	1隻	0.7kg
クロマダコ	定置網	4隻	58.2kg
ブリ	定置網	9隻	1,924.7kg
(1,936.0kg)	底建網	3隻	11.3kg
ウスメバル	釣り	5隻	23.5kg
マイワシ	定置網	1隻	27.3kg
サバ類	定置網	7隻	1,559.7kg
(1,576.8kg)	底建網	1隻	17.1kg

三厩 (8月16~20日)

スルメイカ	釣り	1隻	300.0kg
マダイ	釣り	1隻	5.7kg
クロマダコ	釣り	15隻	644.0kg
アブラツノザメ	延縄	3隻	1,000.0kg

平館 (外ヶ浜) (8月11~15日)
定置網 7隻

マダイ	46.0kg
ブリ	9.1kg
サバ類	1,680.0kg

(8月16~20日)
(取りまとめ中)

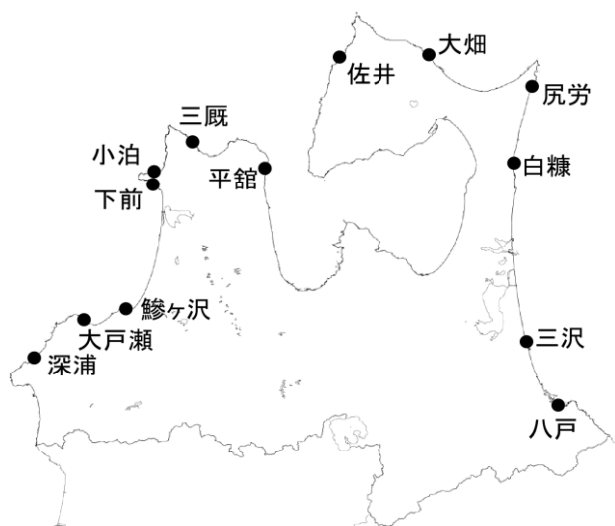
大畑 (8月16~20日)
(取りまとめ中)

尻労 (8月16~20日)
(取りまとめ中)

白糠 (8月16~20日)

スルメイカ	釣り	53隻	13,340.0kg
-------	----	-----	------------

三沢 (8月16~20日)
(取りまとめ中)



佐井 (8月1~5日)

マダイ	釣り	75隻	710.6kg
(1,100.3kg)	延縄	1隻	8.0kg
	定置網	1隻	2.8kg
	底建網	18隻	378.9kg
ブリ	釣り	8隻	103.0kg
(1,129.0kg)	延縄	1隻	5.0kg
	底建網	12隻	1,021.0kg
サバ類	底建網	6隻	987.2kg

(8月6~10日)

ヤリイカ	底建網	1隻	12.0kg
マダイ	釣り	89隻	690.1kg
(1,150.5kg)	底建網	16隻	460.4kg
クロマダコ	延縄	2隻	55.2kg
ブリ	釣り	9隻	180.1kg
(650.8kg)	底建網	12隻	470.7kg
サバ類	底建網	9隻	1,551.0kg

(8月11~15日)

ヤリイカ	底建網	1隻	5.0kg
マダイ	釣り	33隻	267.5kg
(334.1kg)	底建網	8隻	66.6kg
クロマダコ	延縄	1隻	15.0kg
ブリ	釣り	1隻	3.3kg
(56.2kg)	底建網	4隻	52.9kg
ウスメバル	底建網	1隻	0.7kg
サバ類	底建網	3隻	152.0kg

(8月16~20日)
(取りまとめ中)

八戸 (8月16~20日)

スルメイカ	釣り	89隻	30,740.0kg
クロマダコ	定置網	3隻	84.0kg
ブリ	定置網	3隻	7,050.0kg
サバ類	定置網	3隻	143.0kg
サケ	定置網	3隻	328.0kg

沿岸各地の水温

(8月16～20日)

日本海 24℃台 津軽海峡 20℃～23℃台
陸奥湾 23℃台 太平洋 20℃～21℃台

今回は平均前回差が-1.1度となりました。前年と比べると、日本海で-0.1度、津軽海峡で-0.3度、陸奥湾では+0.6度、太平洋では+0.1度、平均前年差は+0.1度となっています。平年と比べると全海域で「平年並み」となっています。

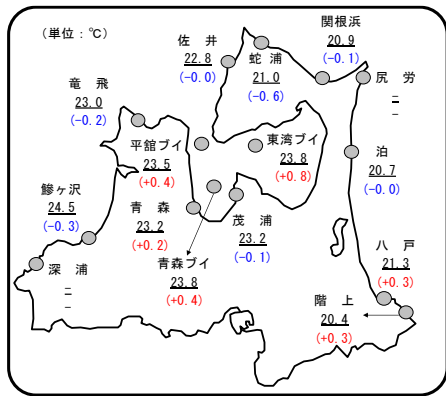


図 定地水温(8月16～20日) 平均值(前年差)1m

表 沿岸各地の水温(8月16～20日)

(単位:℃)

		水温	前回差	前年差	平年差
日本海	深浦	-	-	-	-
	鱒ヶ沢	24.5	-1.7	-0.1	-0.3
	平均	24.5	-1.7	-0.1	-0.3
津軽海峡	竜飛	23.0	-1.0	-0.3	-0.2
	佐井	22.8	-0.9	+0.5	-0.0
	蛇浦	21.0	-1.7	-1.2	-0.6
	関根浜	20.9	-1.0	-0.2	-0.1
	平均	21.9	-1.2	-0.3	-0.2
陸奥湾	青森	23.2	-1.6	+1.2	+0.2
	茂浦	23.2	-1.8	-0.1	-0.1
	平館	23.5	-1.2	+0.6	+0.4
	青森	23.8	-1.1	+0.4	+0.4
	東湾	23.8	-0.9	+0.8	+0.8
	平均	23.5	-1.3	+0.6	+0.3
太平洋	尻労	-	-	-	-
	泊	20.7	-0.7	+0.2	-0.0
	八戸	21.3	-0.4	+0.2	+0.3
	階上	20.4	-0.5	-0.2	+0.3
平均	20.8	-0.5	+0.1	+0.2	
全体平均		22.5	-1.1	+0.1	+0.1

太平洋の海況(8月19日～20日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は21℃～22℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

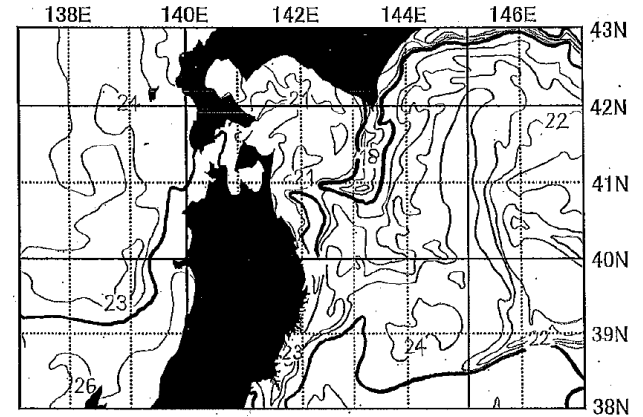
前回と比べほぼ同じ水温となっています。これは前年同期と比べほぼ同じ水温となっています。

日本海の海況(8月19日～20日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は25℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べほぼ同じ水温となっています。これは前年同期と比べほぼ同じ水温となっています。



資料: (社) 漁業情報サービスセンター 北部太平洋海況速報 第41号 8月21日発行

◎ナマコ資源を巡る世界の動き、水総研の取り組み

ナマコは2000年代半ばから価格が高騰しており、青森県内の漁獲金額は平成26年度には26億5561万円と県内の全漁獲金額の約5.5%(第4位)を占める重要魚種となっています。しかし、その一方で漁獲量の増大により、資源状態の悪化も懸念されています。

国際的にも2013年には国際自然保護連合(ICUN)発行のレッドデータリストに、青森県内の主要な漁獲対象であるマナマコをはじめ6種のナマコの仲間が絶滅危惧種として登録されました。また、絶滅のおそれがある生物の保護のために取引を規制するワシントン条約(CITES)でも2002年以降ナマコ類の附属書への掲載が議論されてきました。今回のワシントン条約締約国会議(CoP17)は、2016年9月から南アフリカで開催される予定で、そこでも附属書への掲載が議論されるものと思われます。このようにナマコ漁業に対してはより一層の資源管理の徹底と増殖対策が求められています。

本研究所では、増殖対策としてこれまでに人工授精による種苗生産・放流技術開発やホタテガイ貝殻礁敷設による生息地整備にかかわる研究を行ってきました。さらに、昨年からはホタテガイ養殖施設に稚ナマコが大量に付着しているとの漁業者からの情報を基に、それら稚ナマコを効率的に回収し、天然種苗として利用することを目的とした研究を行っています。今後も、人工種苗生産、天然種苗採集、生息地整備など多面的にマナマコ増殖対策の技術開発・支援に取り組めます。



ホタテガイ養殖施設におけるナマコ採苗器



付着稚ナマコ